

地域おこし協力隊 活動報告日誌

担当：横山 春人



9月 地域・交流 「感謝の実り」

青空のもと汗をかき、自然の巡りの中で作物を育て、恵みをいただく。昔は、きつと当たり前にあった「生きること、食へること、暮らすこと」のシンプルな営み。だからこそ感じる足元の日々の幸せ。地域の豊さや自然への敬意。三倉地域で始めた田んぼの保全と、交流の場づくり。今年も、多くの人の力と、自然の力を借りて、田んぼの稲たちが実り、色んな人たちの笑顔とともに稲刈りのハレの日を迎えることができました。今年地域の方とお宮のしめ縄用のワラも収穫できました。「地域で作物を育てることが、田畑を、里山を守っていくこと」だと地域のおしちゃんに教わりました。まだまだ見習いですが、地域を守るような百姓になりたいと思います。

森町地域おこし協力隊新聞



令和5年(2023年)

10月

第14号

メンバー紹介

地域おこし協力隊

佐野 祥

横山 春人

松葉 知香 (パチカ)

移住コーディネーター

岩瀬 進哉

森町役場

定住推進課



9月の活動報告

佐野

- 友田家関連
草刈り、溝掘り、稲刈り
- 拠点づくり関連
ゲストハウス浴室施工準備
- 手仕事関連
ブルーベリーバター企画
- イベント関連
写真展企画&打合せ
- その他
旭が丘中学授業参加、農林大演習参加、栗蒸し羊羹食べ比べイベント、100サロン参加

横山

- 移住定住相談
移住相談、ふるさと回帰フェア
- 空き家
空き家決断シートWS、資材置き場作り(活用)
- 交流田んぼ
稲刈り交流会、脱穀作業
- 地域
農地災害復旧相談、旭が丘中学授業参加

松葉

- 商品開発関連
梨ビール準備、甘々娘ポタージュ開発準備
- 広報関連
協力隊新聞編集作業
- 関係人口創出
農林大演習参加、おぶふの日の打合せ参加、旭が丘中学授業参加、空き家決断シートWS、栗蒸し羊羹食べ比べイベント

岩瀬

- 移住定住相談
移住・店舗相談、ふるさと回帰フェア
- 空き家の調査
問診、一宮
- 空き家活用推進
仲横町旧レコード店改修、鍛冶島交流拠点整備、空き家決断シートWS
- 関係人口創出
E-bike活用推進

移住コーディネーター通信

「どうするー！空き家」

「空き家があっても空き家はない」そんな禅問答のような言葉があります。

令和四年度の空き家調査で、森町の空き家は五九五軒ありましたが、そのうち賃貸や売買で流通する空き家はごくわずか。空き家はあってもそのまま放置され、傷んでいく空き家が森町には沢山あります。そんな状況を変えて行きたいと、定住推進課と協力隊メンバーとの協働により完成した冊子が「どうする空き家あなたとおうちと森町と」。空き家になるに至った事情はそれぞれですが、空き家をどうかしていかかの決断は早い方がよく、その決断をするためのヒントがこの冊子に詰まっています。定住推進課で配布していますので、是非一読いただきたいです。



岩瀬進哉（イワセシンヤ）・森町移住コーディネーター
地域おこし協力隊員。現在はゲストハウス「森と町」のオーナー。
一般社団法人「モリマチリノベーション」の理事。同
団体に空き家の利活用やまちづくりに取り組む。



協力隊の活動記録

地域おこし協力隊
佐野 祥

田んぼ3年生。小さな棚田に、緑米、赤米、黒米、インディカ米を植えました。去年より生き物が増えました。タニシとホウネンエビがたくさん戻り、タガメやコオイ虫など水生昆虫も登場し、今日はメダカを見つけました。緑米の苗が病気で枯れてしまったり動物が侵入したり、トラブルが絶えません。収穫まであと少しです。

地域おこし協力隊とは？

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期はおおむね1年以上、3年未満です。

連絡窓口のご案内

森町役場（定住推進課）

0538-85-6321



7名の大学生が
演習の一環で鍛冶島へ
やってきました



農業体験や観光を通して
特色や課題を見つけ



若者ならではの視点で
企画提案してもらう授業です

最終的な成果は
来年に発表されます

